

全体	目次	前回	次回	略解	更新 Time-stamp: "2005/07/07 Thu 09:32 hig"
----	----	----	----	----	---

**quiz 略解 12**

運動方程式は  $3 \frac{d^2 \mathbf{r}}{dt^2}(t) = \begin{pmatrix} -12 \cos 2t \\ -6 \sin 2t \\ 0 \end{pmatrix}$ . 積分して

$$\frac{d\mathbf{r}}{dt}(t) = \begin{pmatrix} -2 \sin 2t + C_1 \\ \cos 2t + C_2 \\ C_3 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{r}(t) = \begin{pmatrix} \cos 2t + C_1 t + D_1 \\ \frac{1}{2} \sin 2t + C_2 t + D_2 \\ C_3 t + D_3 \end{pmatrix}. \quad \text{初期条件より}$$

$$C_1 = 2, C_2 = -1, C_3 = 2, D_1 = -1, D_2 = 0, D_3 = 0.$$

**quiz 略解 13**

初速は  $V_x = 5[\text{m/s}]$ ,  $V_z = 5\sqrt{3}[\text{m/s}]$ .  $x(t) = 20$  となる時刻  $t = T$  [s] を求めると,  $T = 4[\text{s}]$ .  $z(4) = -\frac{1}{2}g \cdot 4^2 + 5\sqrt{3} \cdot 4 = -44[\text{m}]$  なのでバウンドしてしまう.. 有効数字 2 桁なので, 3 桁までとって計算し, 最後に四捨五入する.

# 10. 等速円運動と単振動

## 10.1 単振動

質量  $m$  の物体の,  $x$  軸上の運動

$$\boxed{\text{位置}} \quad \mathbf{r}(t) = \begin{pmatrix} x(t) \\ y(t) \\ z(t) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} R \cos(\omega t + \phi) \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix} \quad (137)$$

を  $x$  軸上の **単振動**, **調和振動** という. ただし,  $R(> 0), \omega, \phi$  は定数.

**速度**

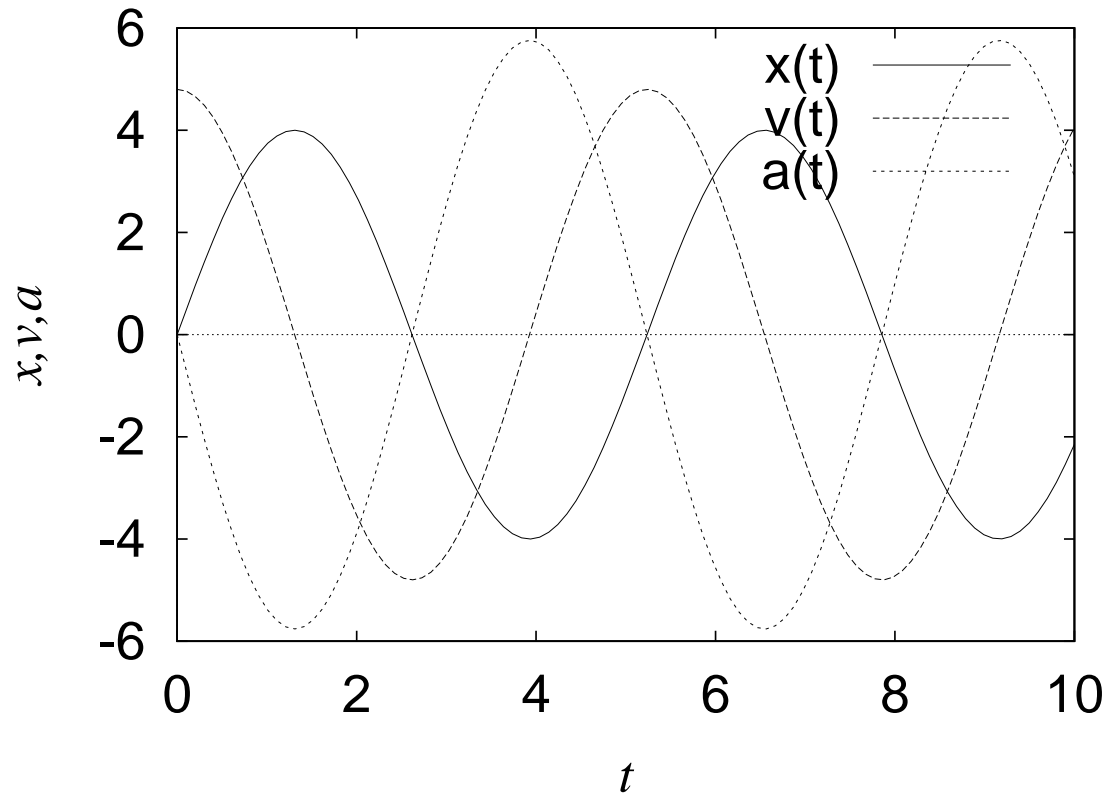
$$\frac{d\mathbf{r}}{dt}(t) = \begin{pmatrix} -R\omega \sin(\omega t + \phi) \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix} \quad (138)$$

**加速度**

$$\frac{d^2\mathbf{r}}{dt^2}(t) = \begin{pmatrix} -R\omega^2 \cos(\omega t + \phi) \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix} = -\omega^2 \mathbf{r}(t). \quad (139)$$

**力**

$$\mathbf{F}(t) = m \frac{d^2\mathbf{r}}{dt^2}(t) = \begin{pmatrix} -mR\omega^2 \cos(\omega t + \phi) \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix} = -m\omega^2 \mathbf{r}(t). \quad (140)$$



アニメ i/V/EZ アプリ

**単振動のいろんな量** ちょっとたいへんだけとおぼえよう.

記号	単位	名前	意味 (単振動)
$R$	[m]	振幅/半径	原点からの最大距離
$\omega$	[rad/s]	角速度	単位時間あたりの位相の変化
$\phi$	[rad]	初期位相	時刻 $t = 0$ における位相
$\omega t + \phi$	[rad]	位相	cos の引数
$T = \frac{2\pi}{\omega}$	[s]	周期	もとの位置, 速度にもどるまでの時間
$f = \frac{1}{T}$	[1/s] = [Hz]	振動数	単位時間に何回振動するかという数

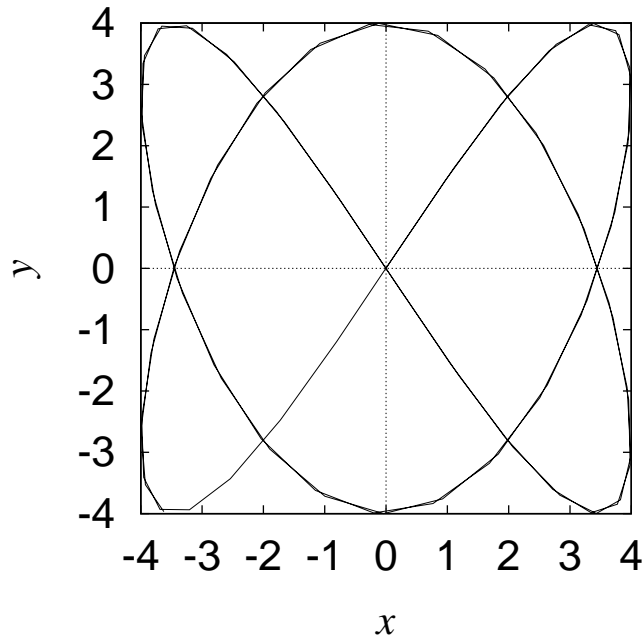
## 10.2 単振動の組みあわせ—リサージュ運動

$x, y$  軸方向に, それぞれ単振動している物体を考えよう. 運動

$$\mathbf{r}(t) = \begin{pmatrix} x(t) \\ y(t) \\ z(t) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} R_1 \cos(\omega_1 t + \phi_1) \\ R_2 \cos(\omega_2 t + \phi_2) \\ 0 \end{pmatrix} \quad (141)$$

を **リサージュ運動** という. ただし,  $R_i > 0, \omega_i, \phi_i$  は定数.

軌跡の例.



i/V/EZ アプリ

<http://hig3.net> > 物理数学

演習 I > リサージュ運動



## 10.3 等速円運動

リサージュ運動の特別な場合  $R = R_1 = R_2, \omega = \omega_1 = \omega_2,$

$\phi_1 = 0, \phi_2 = -\frac{1}{2}\pi$  を考えよう.  $\cos(\omega t - \frac{1}{2}\pi) = \sin(\omega t).$

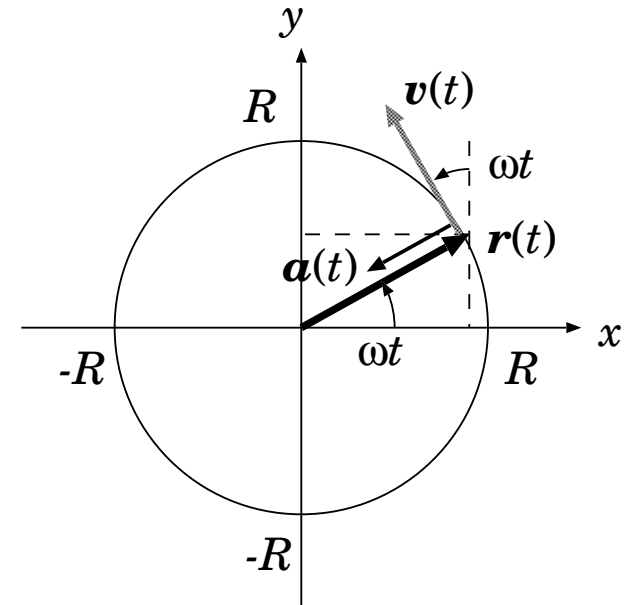
## 位置ベクトル

$$\mathbf{r}(t) = \begin{pmatrix} x(t) \\ y(t) \\ z(t) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} R \cos \omega t \\ R \sin \omega t \\ 0 \end{pmatrix}. \quad (142)$$

**軌跡**  $x^2 + y^2 = R^2, z = 0$  より,  $xy$  平面上の半径  $R$  の円.

$\mathbf{r}(t)$  の向きは,  $x$  軸の正の向きから反時計回りにはかって  $\omega t$  (時刻に比例)

これは等速円運動. 等速円運動の  $x$  座標, または  $y$  座標だけを見ると単振動になっている.



i/V/EZ アプリアニメ

<http://hig3.net> > 物理数学 演習 I > 単振動と等速円運動

速度ベクトル

$$\frac{d\mathbf{r}}{dt}(t) = \begin{pmatrix} -R\omega \sin \omega t \\ +R\omega \cos \omega t \\ 0 \end{pmatrix} \quad (143)$$

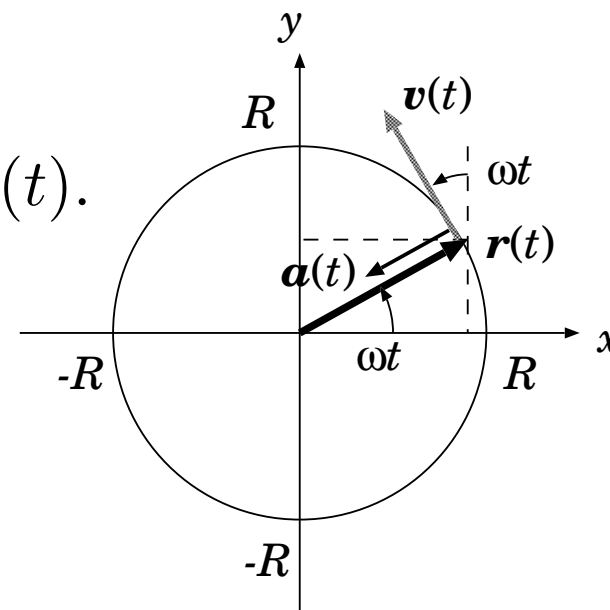
加速度ベクトル

$$\frac{d^2\mathbf{r}}{dt^2}(t) = \begin{pmatrix} -R\omega^2 \cos \omega t \\ -R\omega^2 \sin \omega t \\ 0 \end{pmatrix} = -\omega^2 \mathbf{r}(t). \quad (144)$$

## 等速円運動を引き起こす力

$$\mathbf{F}(t) = m \frac{d^2 \mathbf{r}}{dt^2}(t) = \begin{pmatrix} -mR\omega^2 \cos \omega t \\ -mR\omega^2 \sin \omega t \\ 0 \end{pmatrix} = -m\omega^2 \mathbf{r}(t). \quad (145)$$

力の  は一定,  は一定でない。



力の大きさ  $|m \frac{d^2 \mathbf{r}}{dt^2}(t)| = mR\omega^2$ . (一定)

向きは  $\mathbf{r}(t)$  と平行で逆向き.

つまり, 力は回転の中心を向いている (**向心力** といわれる)

したがって, 力と速度ベクトル  $\frac{d\mathbf{r}}{dt}(t)$  とは直交. これは等速運動すべてに成り立つ性質なのだった (夏のプチテスト 3)



## ちよつと一般化

$\phi_1 = \phi, \phi_2 = \phi - \frac{1}{2}\pi$ .  $\phi$ :新しい定数. いままでは  $\phi = 0$  としてた.

$$\mathbf{r}(t) = \begin{pmatrix} x(t) \\ y(t) \\ z(t) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} R \cos(\omega t + \phi) \\ R \sin(\omega t + \phi) \\ 0 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} R \cos(\omega(t + \frac{\phi}{\omega})) \\ R \sin(\omega(t + \frac{\phi}{\omega})) \\ 0 \end{pmatrix} \quad (146)$$

これも等速円運動.

時刻  $t = 0$  の位置が  $\begin{pmatrix} R \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}$  でなく,  $\begin{pmatrix} R \cos \phi \\ R \sin \phi \\ 0 \end{pmatrix}$  になっただけ.

あるいは,  $\mathbf{r} = \begin{pmatrix} R \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}$  となる時刻が,  $t = 0$  から 103 にずれた  
だけ (出発時刻の変更).

**等速円運動のいろいろな量** ちょっとたいへんだけとおぼえよう。

記号	単位	名前	意味 (単振動)	(等速円運動)
$R$	[m]	振幅/半径	原点からの最大距離	半径
$\omega$	[rad/s]	角速度	単位時間あたりの位相の変化	単位時間あたりの位相の変化
$\phi$	[rad]	初期位相	時刻 $t = 0$ における位相	時刻 $t = 0$ における位相
$\omega t + \phi$	[rad]	位相	cos の引数	$x$ 軸からはかった角.
$T = \frac{2\pi}{\omega}$	[s]	周期	もとの位置, 速度にもどるまでの時間	一周するまでの時間
$f = \frac{1}{T}$	[1/s] = [Hz]	振動数	単位時間に何回振動するかという数	単位時間に何周するかという数

位置, 速度, 加速度ベクトルの大きさの間には,

$$|\mathbf{r}(t)| = R, \quad (147)$$

$$\left| \frac{d\mathbf{r}}{dt}(t) \right| = R\omega, \quad (148)$$

$$\left| \frac{d^2\mathbf{r}}{dt^2}(t) \right| = R\omega^2 \left( = \frac{\left| \frac{d\mathbf{r}}{dt}(t) \right|^2}{R} \right) \quad (149)$$

などの関係があることがわかる. これらはおぼえなくてよい.  $r(t)$  の式 (142) だけ書ければ, 微分して全部出せるから.

## 例題 22

30 秒に 1 回転しているメリーゴーラウンドがある. 中心から  $10[\text{m}]$  のところで白馬に乗っている人は円運動している. この人の角速度を求めよう. 速さと加速度の大きさを求めよう.

## 10.4 単位のはいった計算

略記:

キログラムメートル毎秒毎秒  $\rightsquigarrow$  ニュートン  $[\text{kg}\cdot\text{m}/\text{s}^2] \rightsquigarrow [\text{N}]$

ニュートンメートル毎アンペア毎秒  $\rightsquigarrow$  ボルト  $[\text{N}\cdot\text{m}/(\text{A}\cdot\text{s})] \rightsquigarrow [\text{V}]$

等式, 不等式の両辺は必ず同じ単位になる.

キ口, ミリなどは, 単位の大きさを  $10^n$  倍変える接頭語.

倍率	接頭語		使用例	倍率	接頭語		使用例
$10^9$	ギガ	G	ギガバイト,	$10^{-1}$	デシ	d	デシリットル
$10^6$	メガ	M	メガヘルツ	$10^{-2}$	センチ	c	
$10^3$	キロ	k		$10^{-3}$	ミリ	m	
$10^2$	ヘクト	h	ヘクタール = ヘクト アール	$10^{-6}$	マイクロ	$\mu$	
$10^1$	デカ	da		$10^{-9}$	ナノ	n	

## 例題 23

加速度の大きさ  $36\text{km}/\text{分}^2$  は,  $\text{m}/\text{s}^2$  でいうと?

105

## quiz 14

音楽 CD(直径 12cm) は, (全曲の始めごろには) 毎分約 500 回転している. このときの角速度  $\omega$  [rad/s] と振動数  $f$  [1/s] を求めよう. CD の縁の部分は, どれだけの速さで動いているか求めよう.

**注** 平均 48 倍速の CDROM は, この約 48 倍の速さです.

## quiz 15

物体 1 が,  $xy$  平面内で, 原点を中心とする等速円運動をしている. 半径は 2, 振動数は  $\frac{1}{12}$  で, 運動の向きは, (右手系の) $z$  軸の正の向きから見て反時計回りである. 時刻  $t = 0$  の位置ベクトルを  $r(0) = \begin{pmatrix} -\sqrt{2} \\ -\sqrt{2} \\ 0 \end{pmatrix}$  である.

1. 初期位相を, 初期条件から定めて,  $r(t)$  の式を求めよう.
2. 物体 1 が直線  $y = -x, z = 0$  上にくる時刻を求めよう.
3. 物体 1 は直線  $y = -x, z = 0$  の,  $-2 \leq x \leq -1$  の部分を通過するか判定しよう.
4. 物体 2 が

$$r_2(t) = \begin{pmatrix} \cos(2\pi t) \\ \sin(2\pi t) \\ 0 \end{pmatrix} \quad (150)$$

にしたがって運動している. 物体 1 と物体 2 がもっとも接近する時刻と, そのときの距離を求めよう.

科目のページ + リクエスト / 質問 / 苦情用掲示板

講義のビデオ

UserID:

Password:



<http://hig3.net>

全体

目次

前回

次回

略解